

### 就学援助制度の適用継続を

#### 平成25年の基準適用し維持

増富 理津子 議員 (共産党)



登校する児童(田辺東小学校)

生活保護基準が、平成25年に続き26年4月にも引き下げられたことに伴って、他の制度の負担軽減などに影響がないよう現水準を維持すること。とりわけ就学援助制度は、教育保障のために対策を

現在、他の制

度に影響は出ていない。

【教育部長】 影響を受ける就学援助制度は、25年4月時点の基準を適用し、現状を維持できるようにする。

【国は、介護支援者の「訪問」「通所」介護を保険給付からはずし、「地域支援事業」へ置き換えようとしている中で、特に認知症への影響が懸念されている。また、特養老人ホームの入所を要介護3以上に限定するとされているが、市はサービスの低下を招かないよう対策を。

【健康福祉部長】 在宅サービスの対策は、今後3年間で対応できるようにしたい。特養については26年度に施設を一件開設。認知症対策は、サポートセンター養成講座を商店や事業所にも拡大。居場所づくりに「認知症カフェ」の実施を計

画。65歳以上の障がい者の方は、介護給付が優先するが、障がいの状況により、障がい者福祉サービスの利用が可能。26年1月から中学校で行われている注文弁当方式の昼食提供事業の実施状況は、また、全生徒を対象とする給食の実施についての考えは、

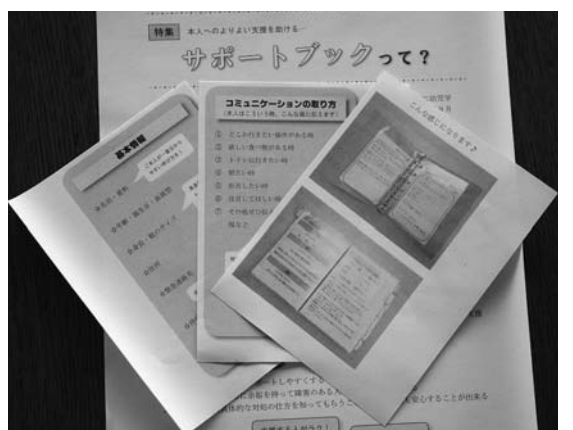
【教育部長】 全生徒1752人に対し、登録者数417人で、利用は1日平均25食である。当面は、現在の注文弁当を継続。給食は考えていない。バス運行について、より利用を広げるためにも、利用実態に合わせた運行時刻の見直しと、わかりやすい時刻表や経路案内の改善、高齢者のバス料金助成の拡充を。

【建設部長】 26年度に、実態調査を実施し、利便性向上と利用促進の検討を行う。

### サポートブックの作成を

#### 研究していきたい

南部 登志子 議員(無会派)



要介護者も、保護者も、介護者も、みんなが楽しめるサポートブック

入業者の登録を行っている。【教育部長】 ①現在も今後も、実体験を通じた食育の取り組みを進めていく。②地元業者活用の割合は変わらない。

【建設部長】 ②バス交通等の利用を呼びかけるなど、各事業者にも協力を依頼する。違法駐輪は継続的に撤去を行い、改善している。③当該地区全体の駐輪需要を確認すべく、利用者を対象に実態調査を行い、整備も含め検討していく。【近鉄新田辺駅西側周辺について。ア特に朝夕、スーパーや病院の駐車場待ち、駅等への送迎の駐車待ちで大変混雑している。スーパーや大型店付近では自転車等の違法駐輪も多い。駐輪場の設置を事業者に義務付けるなど、対策が必要では。④同志社大学文系学部の移転により、田辺中央三丁目の駐輪場が飽和状態である。早急な対策を求める。

【学校給食、ア食育と市内業者育成について、教育長の考えは、①食物の栄養素や働きを知ることも大切だが、野菜栽培や調理体験は食に対する考え方を養う上で非常に

重要。この実践をさらに取り入れ、人間も生態系・食物連鎖の一部であることを学ぶべき。②地元業者の食材納入が減少していると聞かぬが実態は、【教育部長】 ③地産地消は食育の重要な要素。それを進めるために、市内業者や農業者と安定した関係を築くよう、納

る雨水貯留タンクへの支援も、今後検討していく。【胃がんの原因であるピロリ菌の有無と粘膜の萎縮度を調べる「胃がんリスク検診」の導入をすすめるべきでは、

【健康福祉部長】 本市の健康増進計画の中で喫煙の有害性について啓発を進めてきた。禁煙外来助成については、自主的な禁煙を促していきたい。【住民票等の証明書のコンビニ交付を導入すべきでは、

### 災害対応型自動販売機の設置拡充を

#### 計画的に配置したい

河田 美穂 議員 (公明党)

【危機管理監】 今後も、公共

施設を中心として計画的に配置したい。【アレギー対応の学校用カレージなど、備蓄品の拡充をすべき。【危機管理監】 備蓄用カレージは、8月に1泊で実施する避難訓練までに調達できれば、試食してもらいたい。【防災士の資格取得に向けて、アピールをすべき。【危機管理監】 防災士制度への認知を高めるため、自主防災組織連絡会や出前講座などあらゆる機会に、資格取得希望者を募り、さらなるPRに努める。



災害対応型自動販売機(田辺中央公民館前)

【健康福祉部長】 国において光る火災警報器設置の検討を始めるという報道もあり、動向等を今後も注視したい。【屋外で開催される各種イベント会場に、「移动式赤

【健康福祉部長】 イベント会場の公共施設に授乳場所を設けるなどの対応をしている例もあるが、これまでの工夫の仕方も含めて研究をしたい。【「ベビーカーマーク」の設置、周知徹底をすべき。【健康福祉部長】 ポスターの掲示等により、お互いの配慮や理解について啓発するよう努めたい。

【市長は平成26年度、防犯灯のLED化への取り組みを検討するとしているが、実施に向けた具体策は、【市長】 実証実験を実施し、有効性を確認している。地域に於ける状況は異なることもあり、対応方法の検討を進めている。早期に調整を行い、事業の具体化を図りたい。

【環境整備部長】 公共施設や家庭、事業所に雨水の貯留施設を設置することは、水資源の循環と有効活用に取り組むための効果的な手段である。今、建設を進めている三山木保育所に雨水貯留施設の設置を予定している。他の公共施設についても、費用対効果を含め検討したい。家庭が設置され

【市民部長】 国のマイナンバー制度導入に向けた動向を注視し、今後研究を進める。



実証実験として設置されたLED防犯灯